

やまと共創郷育センター NEWSLETTER

2018年秋号

平成27年12月にスタートした本学におけるCOC+事業では、県内自治体・企業と連携する体制を整え、地域とのつながりを強くしたフィールドワーク型・PBL型を含む「地域志向科目」の受講を通じて多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が県内就職することを目指しています。

COC+評価委員会、COC+事業協議会を開催

本年6月に平成29年度やまと共創郷育センターCOC+評価委員会が開催されました。やまと共創郷育センターCOC+評価委員会はCOC+事業について適切な評価を行うための組織で、長友恒人氏(前奈良教育大学長)を評価委員長として、他4名の評価委員から事業の達成状況、進捗状況の評価をいただきました。長友委員長からは、「5カ年計画の第3年度にあたる平成29年度は事業活動にかなりの進展がみられた。特に、学生が奈良県を知る、県内企業や自治体を知ることが教室における授業だけでなく、現場における実践的・体感的な経験は一定の成果を収めたと評価される。また、学生の教育に加えて、教員と企業との交流(経済同友会、県内企業)が行われたことも新しい試みとして評価される」との講評をいただきました。

また、7月には平成30年度やまと共創郷育センターCOC+事業協議会が開催されました。COC+事業協議会はCOC+事業全体の実施に関する重要な事項を審議するとともに、課題やニーズを把握し必要な改善や見直しを行うための会議です。当日は議長である本学今岡春樹学長の司会のもと、事業協働機関の自治体・企業からの出席者と、今後のCOC+事業に資するための意見交換を行いました。参加自治体からは事業終了年度後も現地での活動継続を希望する意見や、参加企業からは、一人でも多く奈良で就職してもらうためには、学生に奈良の企業をよく知ってもらうとともに、企業側においても情報発信等の努力が必要である等々の意見が出されました。



COC+評価委員会



COC+事業協議会

平成30年度開講「地域志向科目」について

事業開始から4年目を迎えたCOC+事業の大きな柱である「地域志向科目」は、「奈良女子大学的教養」の理念に沿った問い、“奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか？”“大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか？”を具体的に問いかける科目で、本年度は32科目を指定、開講しています。

やまと共創郷育センターには、COC+事業の運営に関する事項を審議するため、「COC+推進機構」が設けられており、下部組織として機構内に4つの部門(教育改革部門、就職支援改革部門、生涯学習・共同研究部門、事業評価部門)が設置されています。「地域志向科目」は、この中の教育改革部門メンバーによる検討を経て、既存の教養教育科目・キャリア教育科目・各学部専門科目の中から括り出し、指定が行われています。今後は、これらの科目の履修を卒業の要件に加えるための検討を進めていきます。

平成30年度開講の地域志向科目は以下のとおりです。

区分	授業科目名
教養教育科目	「奈良」女子大学入門
	パサージュ(20A)
	パサージュ(32A)
	パサージュ(32B)
	なら学
	なら学+ (プラス)
	環太平洋くろしお文化論
キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナルB(11)
	キャリアデザイン・ゼミナルB(17)
	キャリアデザイン・ゼミナルB(41)
	キャリアデザイン・ゼミナルB(46)
	キャリアデザイン・ゼミナルB(52)
	キャリアデザイン・ゼミナルB(53)

区分	授業科目名	
専門教育科目	文学部	なら学概論B
		歴史地理学概論
		地誌A
		文化人類学特殊研究
		なら学フィールドワーク実習
		歴史学実習
		コミュニティ・リサーチ
		コミュニティ・アクション
		文化メディア学実習B
		なら学演習
	理学部	サイエンス・オープンラボⅠ
		サイエンス・オープンラボⅡ
		森林生物学野外実習
		河川生物学野外実習
		地域連携運動演習
		地域居住学
	生活環境学部	福祉住環境学
		現代民俗論演習
		地域社会の課題演習
		なら学演習

～なら学フィールドワーク実習～

この科目は、文学部専門教育科目のひとつで、学外の企業の方と協働できるスキルを養う(汎用的知識)と、フィールドワークの初歩の知識を学び経験する(専門的知識)の獲得を学習・教育目標に掲げ、受講学生自らが学生記者となって、希望する県内企業を複数回訪問し、経営者・従業員の方へのインタビューや営業・生産などの現場を取材するもので、学生目線で県内企業の魅力を発見・発信する実践的な授業として、前期に開講されました。取材に基づく記事・誌面づくりを通じて、企業研究・社会人(企業人)との対応練習の他、学生自身の就業力・社会人基礎力の向上も期待できる授業であり、今回は、(社福)ぷろぼの、ディライト(株)、スケーター(株)、奈良テレビ放送(株)の4社の協力を得て実施しました。



～「奈良」女子大学入門～

この科目は、奈良女子大学で学び、安全で充実したキャンパスライフを送るために必要不可欠な内容をオムニバス形式で講義する授業で、キャンパスライフの充実、奈良女子大学で学ぶ、奈良で暮らす・奈良で働くといったテーマで前期に開講し、661名の学生が受講しました。特に第9回から第15回は、「奈良を知る・奈良で就職」と題して、「奈良県の経済動向」及び「県内企業との共同研究」、「奈良で就職すること」をキーワードに、自治体や企業、経済団体からもゲストスピーカーを招いて授業を展開し、奈良からスタートするキャリアデザインを描く契機となりました。



平成30年度前期のCOC+事業の取組状況

やまと共創郷育センターでは、奈良県内の特色ある魅力的な企業を知ってもらう機会とするため、様々なイベントを開催し、学生の奈良県での就職に対する意識の涵養の一助となるよう取り組んでいます。

学生の声

- ・気軽に質問ができる雰囲気がすごく良かった。
- ・とても話しやすい環境だった。
- ・気になっていた企業から話が聞けて、大変満足。
- ・先輩方から貴重なお話をいただけてとても良かった。

企業・OGの声

- ・日頃気づかない学生からの目線に改めて気がつく有意義な時間となった。
- ・学生の率直な意見が聞けて良かった。
- ・1回生の参加もあり、就職意識の高さに驚いた。

～県内企業・業界研究会～

6月6日(水)、14日(木)及び19日(火)、奈良県内企業の魅力を紹介する業界研究会を開催しました。3日間の参加企業は20社、参加学生58名で、県内にそれぞれ特色のある魅力的な企業がたくさんあることを学生が知る良い機会になりました。

実施日	参加企業	参加者
6月6日(水) 企業6社	㈱井上天極堂、岡村印刷工業㈱、河村繊維㈱、国広産業㈱、クオリカプス㈱、(社福)ぷろぼの	13名
6月14日(木) 企業7社	上六印刷㈱、㈱MSTコーポレーション、岡本㈱、ダイシン化工㈱、ディライト㈱、奈良テレビ放送㈱、名阪食品㈱	23名
6月19日(火) 企業7社	スケーター㈱、辰巳電子工業㈱、田村薬品工業㈱、西垣靴下㈱、ホテル日航奈良、㈱三輪山本、㈱明新社	22名



～県内企業OGとの交流会 inラウンジ～

7月3日(火)、4日(水)の両日、県内の企業等に就職する先輩(OG)と本学学生との交流会を開催しました。2日間の参加OGは14名、参加学生22名で、先輩方の仕事のことやオフの過ごし方など、多方面に亘る事柄について学生が知る良い機会になりました。

実施日	参加OG所属先	参加者
7月3日(火)	奈良県庁、奈良県警察本部、奈良市役所、㈱南都銀行、クオリカプス㈱、奈良テレビ放送㈱	15名
7月4日(水)	奈良県庁、奈良県警察本部、奈良市役所、㈱南都銀行、上六印刷㈱、東洋スクリーン工業㈱	7名



サテライト施設情報 < 下市町、野迫川村、十津川村にサテライト施設を設置しています。 >

～奈良県下市町にて学習支援事業を実施～

8月20日(月)から22日(水)までの3日間、奈良女子大学下市アクティビティセンターにて本学学生による学習支援事業が開催され、下市町の小中学生(20日6人、21日7人、22日4人)と学習支援を通じた交流を深めることができました。夏季ワーク等の宿題を中心とした学習のお手伝いの他、「下市町手作り地図」の作成やかなた大会の実施など地域・地元に着目した社会学習を実施しました。

参加学生からは、「小学生と一緒に夏季学習のお手伝いできて楽しかった」「参考になればと自身の高校・大学生活を紹介した」「初めて下市町を訪問した。都会では得られない下市町の良さを知ることができた」といった感想がありました。



～第6回 野迫川村奈良女塾を実施～

8月27日(月)から8月31日(金)までの5日間、奈良女子大学野迫川村交流センターにて第6回野迫川村奈良女塾が開催されました。本学では春休み、夏休みの機会を捉えて、日頃、高校生や大学生に接する機会のない野迫川村の小中学生に向けて学習サポートや大学生とのふれあいを通じて将来の進路を考えるきっかけとなるよう野迫川村奈良女塾を開講しています。今回の参加対象者は小学生5名、中学生3名の8名。午前中は国語、算数、英語、社会など夏休みの課題学習の補助を行い、午後は、理科の実験、おやつづくり、かるた大会、英語による映画鑑賞などの活動を実施しました。



今後の取組予定

★なら学+(プラス)の開講

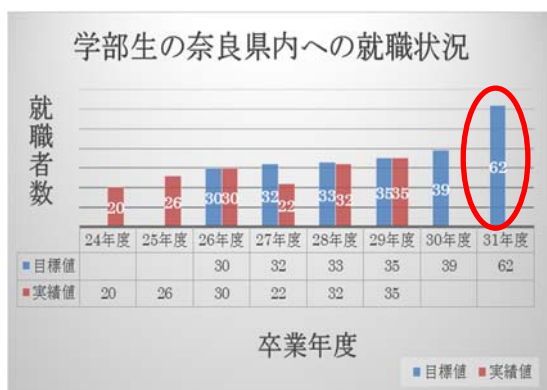
世界遺産、史跡、名勝に囲まれた「奈良」というフィールドを通じて地域社会の抱える課題を見つけて、地方創生、地(知)の拠点作りについて考える授業科目です。連携校の他、県内自治体・企業から多彩な実務家をゲスト講師に迎えて様々な視点から奈良の課題について考えます。

【予定ゲスト講師】

奈良県地域振興部、奈良県森林技術センター、奈良県薬事研究センター、奈良県農林部、奈良県女性活躍推進課、奈良県社会福祉協議会、下市町、奈良市観光協会、飛鳥観光協会、南都経済研究所、田村薬品工業(株)、(株)ATOUN、DMG森精機(株)、(株)マックス、(株)イムラ、(株)キタイ 他

- ★女子大学生ワーク&ライフEXPO 10/27(土)会場:本学体育館
- ★県内企業による業界研究会 11/14(水)会場:本学記念館
- ★県内就職希望者帯同による企業訪問 11月～12月 県内7社訪問予定
- ★県内自治体の魅力を聞くセミナー 12月 8～10自治体参加予定
- ★本学・奈良高専・奈良県立大合同バス利用企業見学会 2月 県内3～5社訪問予定

県内就職事業目標値達成に向けて



COC+事業には、学生の地元就職率を事業スタート時点から10%アップさせるという目標があります。平成31年度には62名もの学生の奈良県内への就職が必要となります。平成27年度22名、同28年度32名、同29年度35名と県内就職者は漸増傾向にはありますが、県外出身者が9割を占める本学にとっては非常に高いハードルを乗り越えなければなりません。

やまと共創郷育センターでは、今後も引き続き学生に奈良県への興味関心を高めてもらうため、様々な事業に取り組んで参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

奈良女子大学 やまと共創郷育センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター1階
TEL 0742-20-3989 FAX 0742-20-3993 Email: coc-yamato@cc.nara-wu.ac.jp